

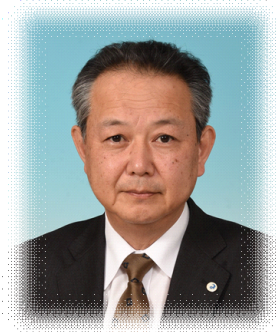


令和2年4月14日発行 中等新報第52号
新潟県立村上中等教育学校長 吉井 裕也

祝入学！ ～ 今こそ、中等のペースをつかもう ～

4月6日（月）、第19回入学式を挙行了しました。期待と不安の入り交じった気持ちを抱え、新入生82名の中等生活のスタートです。新生活が始まって1週間、ようやくクラスメートと馴染み始めたところ、明日から約3週間の臨時休業となってしまうしました。この期間、たくさんの学習課題が出されますが、決して自分を甘やかさず、積極的にチャレンジしてみてください。今回は、入学式の校長式辞の抜粋を紹介します。

式辞（抜粋）



新しい生活に踏み出す皆さんに、励ましの気持ちを込めて伝えたいことが二つあります。一つは、できるだけ早く時間の使い方のルールを打ち立てて、安定したリズムで暮らせるようになってほしいということです。そのためには、まず今、何に時間をかけなければならないのか、そのつど時間を使う際の優先順位を意識することが大切です。十代前半の皆さんの今後の成長を考えると、皆さんの人生はさまざまな可能性に満ちていると言えます。ただし、この可能性は、皆さんの時間の使い方によって、一年、一年、変化していきます。皆さんに与えられた可能性が今後ますます大きく膨らんでいくか、次第にしぼんでしまうか、それは皆さんの時間の使い方にかかっている。このことは、ぜひ覚えておいてください。

時間を無駄に費やさないためには、毎日小さな目標を設定し、その実現に向けて頑張ってみること。今日は、このことを確実にやり遂げよう、最低でもこのことだけはできるようになろう、というふうに毎日小さな目標を掲げる。そして、一日が終わり、その小さな目標を達成できたときには、自分で自分の行動を評価する。この繰り返しによって、ささやかではあるけれど、「日々「やればできる」という手応えを得ることができます。小さいけれど、確かな達成感の積み重ねが、自分に対するプラスの見方を生み出し、ひいてはさまざまな課題に対して前向きに取り組む習慣を形作っていくのです。

二つめは、周囲の人や物事と自分との関係について、想像力を働かせられるようになってほしいということです。電車などに乗っていると、こんな人を目にする場合があります。二人がけの座席なのに、一人ででんと構えて腰を下ろし、脇にカバンなど自分の荷物を平気で置いている人。車内がどんなに混んでいようと、まったく素知らぬふうでスマホをいじっている。荷物を膝の上に置き、ちょっと体を端に寄せるだけで、もう一人の人が十分座ることができるのに。

この場合、想像力を働かせるというのは、自分の姿を少し離れたところから眺め、自分の振る舞いが周囲にどんな影響を与えているのか考えるということです。今、自分が取っている態度は、相手にどんな思いを抱かせているのだろう。こんな場合は、どのような振る舞いがふさわしいのだろう。生活のいろいろな場面で意識してみてください。ほんのわずかな心配りで人間関係がうまくいき、生活全体が明るくなる。これは本当です。ぜひ今日から実行してみてください。

村上中等教育学校が最も大切にしている方針は、「レッツトライ！」という合い言葉に表されています。人は背伸びをしながら成長するものです。自分には少し難しそうに思える課題に対しても、ひるむことなく挑戦してみてください。村上中等教育学校には、皆さんを大きく飛躍させるチャンスがたくさん用意されています。不安なこと、心配なことがあったら、どんなに些細なことでも、先生方に相談してみてください。当校の教職員は、皆さんがそれぞれの目標の下、生き生きとした学校生活を送ることができるよう、精一杯支援します。

次回は、新入生代表「誓いの言葉」と、在校生代表「歓迎の言葉」を紹介します。



新潟県立村上中等教育学校

〒958-0031 村上市学校町6番8号 TEL.0254-52-5101 FAX.0254-53-6773
HPアドレス <http://www.murakami-ss.nein.ed.jp>